

令和7年度

シラバス

<3年生>



滋賀県立彦根東高等学校

※内容は予定です。変更する場合がありますので、授業等での先生方からの連絡をよく聞くこと。

令和7年度シラバス

滋賀県立彦根東高等学校

[国語] 科

科目名	論理国語		学年	類型・コース	単位数
			3	全	2
学習の 目 標	現実社会において必要な国語の知識や技能を習得し、言語活動を通して論理性や創造性、伝え合う力や考えを深めたり広げたりする力を育み、言語文化の担い手としての積極的な態度を養うこと。				
使 用 教 材	教科書	探求 論理国語（桐原書店）			
	副教材	入試頻出漢字＋現代文重要語彙 TOP2500（いっずな書店）、新訂版 常用国語便覧（浜島書店）、グラン現代文（尚文出版編集部）、読解評論文キーワード（筑摩書房）、実用文速読トレーニング（数研出版）			
評 価	評価法	定期考査、小テスト（毎週）、パフォーマンス課題（レポート発表、プレゼンテーション、グループ討議）、ノート、自学用課題などを材料として、評価します。			
	評価 観点 の 趣 旨	1	知識・技能	より多くの語彙の習得と、言葉の特徴・使い方や文章中における情報相互の関係を理解・整理することを通して、新たな考えを構築しながら他者とさまざまな関わる力を身につけ、現実社会に生かしている。	
		2	思考・判断・表現	文章の種類をふまえて多面的・多角的な視点から、論理的、批判的に文章を吟味し考える力を伸ばすとともに、効果的な情報収集と論理的で明晰に表現する力を磨き、多様な論点と価値観をもって自分の考えを深めている。	
		3	主体的に学習に取り組む態度	さまざまな文章に積極的に触れ、言葉の価値の認識の深化に努めながら、言葉を通して他者と関わり、主体的に自己の課題と向上のための学習に取り組んでいる。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末・学年末に観点別学習状況の評価（A，B，Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。				

【1学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
4	「人間の領域」	・人間の死の認識について、他の動物との比較を通して論理的に考察する。	中間考査	中間考査	課題 レポート
5	「アノマロカリス」 【読むこと】6時間 【書くこと】4時間	・筆者の論理展開の仕方を学ぶ。その上で、人間を人間たらしめている論理について理解を深める。	中間考査	中間考査	課題 レポート
			中間考査		レポート
6	「市民社会化する家族」 【読むこと】3時間 【書くこと】2時間	・核家族化した近代家族の姿がさらに変貌を遂げようとする現代社会の情勢を理解する。 ・近代市民社会の資本主義原理について理解を深め、その是非について自ら考察し説明できるようにする。	期末考査	期末考査	課題 レポート
			期末考査	期末考査	課題 レポート

6	「身体と出現」	・人間を取り巻くものと身体の関わりについて考える。	期末考査	期末考査	課題 レポート
7	【読むこと】 3時間 【書くこと】 2時間	・人間の身体と意識の関係について、身近な例を自らひきながら考える。	期末考査	期末考査	課題 レポート

【2学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
8	「ポストモダンと排除社会」 「地図の想像力」	・近代市民社会についての理解の制度を上げ、さらに複雑化した現代の社会のとらえ方を考える。	中間考査	中間考査	課題 レポート
9		・現代の私たちの認識、考え方を、相対化する視点を持つ。	中間考査	中間考査	課題 レポート
10	【読むこと】 6時間 【書くこと】 4時間	・深めたい項目を調査し、データや図表を活用して考えを述べる。	中間考査	中間考査	課題 レポート
10	問題演習	・様々な論理的文章の読解を通して、学びを深める。	中間考査	中間考査	課題 レポート
11		・複数の資料を比較して考えを深める。	中間考査	中間考査	課題 レポート
12		・根拠となる資料を読解し、自分の考えを持てるようにする。	中間考査	中間考査	課題 レポート
		・初見の文章において論理的に読解できるように心がける。	期末考査	期末考査	課題

【3学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
12 1	問題演習	10月以降に同じ	小テスト	小テスト	課題

担当者からのメッセージ

「論理国語」では、第二学年に引き続き、論理的文章や実用的文章を教材として、論理的・批判的に考える力を伸ばし、創造的に考え、他者と関わり合うなど、実社会で必要とされる国語力の育成を目指します。多様な種類の文章や資料に触れながら、他者の主張を読み取り、自らの考えを深めて、表現したり仲間と交流したりする活動も行います。主体的に調べたり覚えたり考えたりする姿勢を大切にして、授業を通して仲間と切磋琢磨しながら自己の内面を鍛え、積極的に発信することの楽しさや大切さを実感して、言葉を通して社会で活躍できるようになってください。また、変化し続ける社会に柔軟に対応し、その都度、あらゆる場面で多面的に物事を考えながら生きていく姿勢を培ってください。

令和7年度シラバス

滋賀県立彦根東高等学校

〔国語〕科

科目名	古典探究		学年	類型・コース	単位数
			3	GS 理/理	2
学習の目標	多様な分野からの古典作品を読解する中で、国語に関する知識を豊富にし、多面的な技能を養成し、言語活動を通して思考力や表現力を養い、さらに探究的・主体的な学びを深めることで、将来において日本文化を世界に発信し展開できる人材を育成する。				
使用教材	教科書	古典探究「古文編」・「漢文編」（第一学習社）			
	副教材	「新訂版 常用国語便覧」 浜島書店 「新しい古典文法」 四訂新版 桐原書店 「精選漢文」 尚文出版			
評価	評価法	定期考査、レポート、スピーチ発表、小テスト、などで評価する。			
	評価観点の趣旨	1	知識・技能	古典文法と古文単語、漢文句法と語彙の知識を持ち、運用の仕方を理解したうえで、さまざまな古典を正確に訳し、理解することができる。	
		2	思考・判断・表現	文章の読解を通して作者の考えを考察したり、複数の教材を比較して伝えたい内容を吟味し、内容について多面的に判断し、自らの考えを述べたり記述したりできる。	
		3	主体的に学習に取り組む態度	国語の読解力を高めるための諸課題に主体的に取り組み、これまで学んだ自らの知識や技能、思考力を生かし、より効果的な学習方法を考えて実践できる。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末・学年末に観点別学習状況の評価（A，B，Cの3段階）および評定（１～５の５段階）にまとめます。				

【1学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
4	古文 物語 漢文 逸話 諸家の文章	『源氏物語』『若紫』【読むこと】 「不死之道」【読むこと】 「漁父辞」【読むこと】	中間考査 小テスト	中間考査	課題 レポート
5	古文 物語 漢文 諸家の文章	『源氏物語』『若紫』【読むこと】 「五柳先生伝」【読むこと】	中間考査 小テスト	中間考査	課題 レポート
6	古文 日記 漢文 諸家の文章	『蜻蛉日記』『うつろひたる菊』【読むこと】 「五柳先生伝」【読むこと】	期末考査 小テスト	期末考査	課題 レポート
7	古文 日記	『讃岐典侍日記』『堀川天皇との別れ』 【読むこと】	期末考査 小テスト	期末考査	課題 レポート

【2学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
9	古文 漢文	問題演習 【読むこと】 問題演習 【読むこと】	中間考査	中間考査	レポート
10	古文 漢文	問題演習 【読むこと】 問題演習 【読むこと】	中間考査	中間考査	レポート
11	古文 漢文	問題演習 【読むこと】 問題演習 【読むこと】	期末考査	期末考査	レポート
12	古文 漢文	問題演習 【読むこと】 問題演習 【読むこと】	期末考査	期末考査	レポート

【3学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
1	古文 漢文	問題演習 【読むこと】 問題演習 【読むこと】	小テスト	小テスト	課題

担当者からのメッセージ

高校1・2年生で培った知識と思考力に基づいて、さらに発展的に多くの古典作品に触れながら学習することによって、日本文化への造詣を深め、豊かな精神性を養い、主体的に深く思考する態度を培うことができる。また、作品を通して他者の心情をくみ取ったり、社会的背景を考察することによって、多様な人間性に対する理解を深め、国際社会を生きる日本人として、日本の古典の神髄を海外に発信し展開できる国際人としての成長が期待できる。

令和7年度シラバス

滋賀県立彦根東高等学校

[国語] 科

科目名	GS国語探究		学年	類型・コース	単位数
			3	GS 文/文	4
学習の目標	多様な分野からの古典作品や現代作品を読解する中で、国語に関する知識を豊富にし、多面的な技能を養成し、言語活動を通して思考力や表現力を養い、さらに探究的・主体的な学びを深めることで、将来において日本文化を世界に発信、展開できる人材を育成する。				
使用教材	主たる教材	古典探究「古文編」・「漢文編」（第一学習社） / 文学国語（筑摩書房）			
	副教材	「新訂版 常用国語便覧」 浜島書店 「新しい古典文法」四訂新版 桐原書店 「精選漢文」 尚文出版			
評価	評価法	定期考査、レポート、スピーチ発表、小テスト、などで評価する。			
	評価観点の趣旨	1	知識・技能	古典文法と古文単語、漢文句法と語彙の知識を持ち、運用の仕方を理解したうえで、さまざまな古典を正確に訳し、理解することができる。現代文の語句の知識を持ち、正しく読解できる。	
		2	思考・判断・表現	文章の読解を通して作者の考えを考察したり、複数の教材を比較して伝えたい内容を吟味し、内容について多面的に判断し、自らの考えを述べたり記述したりできる。	
		3	主体的に学習に取り組む態度	国語の読解力を高めるための諸課題に主体的に取り組み、これまで学んだ自らの知識や技能、思考力を生かし、より効果的な学習方法を考えて実践できる。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末・学年末に観点別学習状況の評価（A，B，Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。				

【1学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
4	古文 物語 漢文 逸話 諸家の文章 文学 随想	『源氏物語』『葵の上の出産』【読むこと】 「不死之道」「漁父辞」【読むこと】 「陰影礼讃」【読むこと】【書くこと】	中間考査 小テスト	中間考査	課題 レポート
5	古文 物語 漢文 諸家の文章 文学 評論	『源氏物語』『葵の上の出産』【読むこと】 「五柳先生伝」【読むこと】 「隠れん坊の精神史」【読むこと】【書くこと】	中間考査 小テスト	中間考査	課題 レポート
6	古文 物語 漢文 諸家の文章	『源氏物語』『紫の上の死』【読むこと】 「五柳先生伝」【読むこと】	期末考査 小テスト	期末考査	課題 レポート
7	古文 評論 文学 小説	『無名抄』『深草の里』【読むこと】 『毎月抄』『本歌取り』【読むこと】 「藤野先生」【読むこと】【書くこと】	期末考査 小テスト	期末考査	課題 レポート

【2学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
9	古文 漢文	問題演習 【読むこと】 問題演習 【読むこと】	中間考査	中間考査	レポート
10	古文 漢文	問題演習 【読むこと】 問題演習 【読むこと】	中間考査	中間考査	レポート
11	古文 漢文	問題演習 【読むこと】 問題演習 【読むこと】	期末考査	期末考査	レポート
12	古文 漢文	問題演習 【読むこと】 問題演習 【読むこと】	期末考査	期末考査	レポート

【3学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
1	古文 漢文	問題演習 【読むこと】 問題演習 【読むこと】	小テスト	小テスト	

担当者からのメッセージ

学校設定科目の「GS 国語探究」の特徴は、「論理国語」では扱うことができない「文学国語」を学習できることである。「文学国語」には随想や小説分野が主として含まれていて、学習分野の幅を広げることができる。「GS 国語探究」では、高校1・2年生で培った知識と思考力に基づいて、古代から現代までの多くの作品に触れながら、さらに発展的に学習することによって、日本文化への造詣を深め、豊かな精神性を養い、主体的に深く思考する態度を培うことができる。また、作品を通して他者の心情をくみ取ったり、社会的背景を考察することによって、多様な人間性に対する理解を深め、国際社会を生きる日本人としての成長が期待できる。

令和7年度シラバス

滋賀県立彦根東高等学校

[地理歴史] 科

科目名	地理探究		学年	類型・コース	単位数
			3	全	4
学習の目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。				
使用教材	教科書	『新詳地理探究』（帝国書院）、『詳解現代地図 最新版』（二宮書店）			
	副教材	『データブック オブ・ザ・ワールド』（二宮書店） 『最新地理図表 GEO』（第一学習社）、『新地理要点ノート』（啓隆社）			
評価	評価法	定期考査、レポート、ノート、振り返りシートなどで評価する。			
	評価観点の趣旨	1	知識・技能	地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解する。地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	
		2	思考・判断・表現	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	
		3	主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末・学年末に観点別学習状況の評価（A，B，Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。				

【1学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
4 ・ 5	自然環境 資源と産業	○地形と気候 ○日本の自然環境 ○地球環境問題 ○農林水産業と食糧問題 ○エネルギー・鉱産資源 ○工業 ○第3次産業	中間考査	中間考査 レポート	ノート 振り返りシート

6 ・ 7	交通・通信と 観光，貿易 人口， 村落・都市	○交通・通信 ○観光，貿易と経済圏 ○人口とその問題 ○村落・都市 ○都市・居住問題	期末考查	期末考查 レポート	ノート 振り返りシート
-------------	---------------------------------	--	------	--------------	----------------

【2学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
9 ・ 10	生活文化， 民族・宗教 現代世界の 諸地域	○衣食住 ○民族・宗教と民族問題 ○領土問題 ○中国・韓国 ○ASEAN 諸国	中間考查	中間考查 レポート	ノート 振り返りシート
11 ・ 12	現代世界の 諸地域	○インド ○西アジアと中央アジア ○北アフリカと サハラ以南のアフリカ ○EU 諸国とロシア ○アメリカ合衆国 ○ラテンアメリカ ○オーストラリアと ニュージーランド	期末考查	期末考查 レポート	ノート 振り返りシート

【3学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
1	持続可能な 国土像の探究	○持続可能な日本の 国土像の探究	レポート	レポート	振り返りシート

担当者からのメッセージ

まずは手元にある地図帳を開けてみてください。ある村落や都市の地名が目にとまります。この場所の自然環境は何か？，資源・産業は何か？，この場所までの交通手段は何か？，ここに住む人々の生活文化はどうだろう？，この地域はどの地域と結びついているか？，すべての「問い」は地図から始まるのです。

令和7年度シラバス

滋賀県立彦根東高等学校

[地理歴史] 科

科目名	日本史探究		学年	類型・コース	単位数
			3	理系	4
学習の目標	我が国の歴史の展開について、世界史的視野に立って各時代の特色及び変遷を総合的に考察し、我が国の文化と伝統についての認識を深めることによって、歴史的思考力を培い、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。				
使用教材	教科書	『日本史探究』（実教出版）			
	副教材	『図説 日本史通覧』（帝国書院） 『詳録 新日本史史料集成』（第一学習社） 『時代と流れで覚える！日本史用語』（文英堂）			
評価	評価法	考查、提出物、授業（発表）態度			
	評価観点の趣旨	1	知識・技能	歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解し、史資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	
		2	思考・判断・表現	歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、表現している。	
		3	主体的に学習に取り組む態度	歴史の展開に関わる諸事象について、多面的・多角的な考察や深い理解を通して現代の諸課題に対する問題意識を高め、我が国の歴史や文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末・学年末に観点別学習状況の評価（A，B，Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。				

【1学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
4 ・ 5	第1部 第1章 日本文化のあけぼの 第2章 ヤマト政権の成立と古墳文化 第3章 律令国家の形成 第4章 古代の国家・社会の変容 第2部 第1章 荘園公領制の成立と院政	○日本列島最古の文化 ○縄文時代の社会と文化 ○弥生時代の社会と文化 ○小国の分立と邪馬台国 ○古墳の出現とヤマト政権の成立 ○ヤマト政権の展開と統治の進展 ○古墳時代の生活と文化 ○古代国家の形成 ○飛鳥文化・白鳳文化 ○律令制度 ○奈良時代の政治 ○天平文化 ○律令体制再編期の政治と社会 ○摂関政治の成立と支配体制の転換 ○国風文化	中間考查	中間考查 レポート	ノート レポート リフレクシ ョンシート
6 ・ 7	第2部 第1章 荘園公領制の成立と院政 第2章	○鎌倉幕府の成立と朝廷 ○中世に生きる人々 ○蒙古襲来と幕府の衰退	期末考查	期末考查 レポート	ノート レポート リフレクシ ョンシート

	中世の国家・社会の展開 第3章 中世の国家・社会の変容 第3部 第1章 東アジアの世界の変容と天下統一 第2章 幕藩体制の成立と展開 第3章 近世の国家・社会の変容	○鎌倉文化 ○南北朝の動乱 ○室町幕府の政治と外交 ○室町社会の展開と応仁の乱 ○室町文化 ○戦国大名の分国経営 ○織豊政権 ○天下統一の完成 ○近世成立期の文化 ○幕藩体制の成立 ○貿易の統制と対外関係 ○近世社会のしくみ ○幕府政治の展開 ○経済の発展 ○元禄文化と学芸の発展 ○幕藩体制の動揺と幕政の改革 ○欧米列強の接近と天保の改革 ○近世文化の成熟と変容			ンシート
--	--	---	--	--	------

【2学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
9 ・ 10	第4部 第1章 開国から倒幕へ 第2章 明治維新 第3章 近代国家の形成 第4章 両大戦間の日本 第5章 十五年戦争と日本	○明治維新 ○文明開化 ○立憲国家への道 ○議会政治の展開と日清・日露戦争 ○産業革命と社会の変化 ○近代文化の形成と展開 ○第一次世界大戦 ○政党政治の展開 ○市民文化の展開 ○満洲事変 ○日中戦争 ○アジア・太平洋戦争（太平洋戦争）	中間調査	中間調査 レポート	ノート レポート リフレクション シート
11 ・ 12	第6章 戦後日本の形成 第7章 グローバル化のなかの現代日本 現代の日本の課題の探究	○占領と民主改革 ○独立と日米安保体制の形成 ○高度経済成長下の日本 ○「国際化」する経済大国 ○新たな世紀の日本へ	期末調査	期末調査 レポート スピーチ 発表	ノート レポート リフレクション シート

【3学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
1	全時代を通した復習問題演習	○全時代を通した問題演習	小テスト	小テスト レポート	ノート レポート リフレクション シート

担当者からのメッセージ

歴史総合の学習を踏まえながらも、更にレベルの高い問題に取組、応用力を身につけます。史料を通じて各時代を理解するとともに、歴史的事実に対する検証なども行います。また、論述形式の問題に取り組むことによって、論理的な思考力や説明力を養います。

令和7年度シラバス

滋賀県立彦根東高等学校

[地理歴史] 科

科目名	世界史探究		学年	類型・コース	単位数
			3	理系	4
学習の目標	社会的事象への歴史的な見方、考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通じて、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身につけることを目指す。				
使用教材	教科書	『新詳世界史探究』（帝国書院）			
	副教材	『最新世界史図説　タペストリー』（帝国書院） 『ウィニングコンパス世界史の整理と演習』（とうほう）			
評価	評価法	定期考査、レポート、ノート、リフレクションシートなどで評価する。			
	評価観点の趣旨	1	知識・技能	世界の歴史の諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	
		2	思考・判断・表現	世界の歴史の諸事象について、事象の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論できる。	
		3	主体的に学習に取り組む態度	世界の歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末・学年末に観点別学習状況の評価（A，B，Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。				

【1学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
4 ・ 5	1 部 世界史へのまなざし 2 部 諸地域の歴史的特質の形成	・ 地球環境からみる人類の歴史 ・ 日常生活からみる世界の歴史 ・ 古代文明の歴史的特質 ・ 東アジアと中央ユーラシアとの歴史的特質	中間考査	中間考査 レポート	リフレクションシート ノート
6 ・ 7	2 部 諸地域の歴史的特質の形成	・ 南アジアと東南アジアの歴史的特質 ・ 西アジアと地中海周辺の歴史的特質	期末考査	期末考査 レポート	リフレクションシート レポート ノート

【2学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
9 ・ 10	3部 諸地域の交流・再編 4部 諸地域の結合・変容	・ユーラシア大交流圏の成立 ・アジア諸地域の成熟とヨーロッパの進出 ・主権国家体制の成立と交易の拡大 ・環大西洋革命～工業文明と国民国家の誕生 ・イギリスの覇権と欧米の国民国家建設 ・世界の一体化の完成とその影響	中間考査	中間考査 レポート	リフレク ションシ ート ノート
11 ・ 12	4部 諸地域の結合・変容	・世界大戦の時代 ・戦後の国際秩序と冷戦	期末考査	期末考査 レポート	リフレク ションシ ート レポート ノート

【3学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
1	5部 地球世界の課題	・冷戦の展開と平和の模索 ・グローバル化する国際秩序とその課題 ・情報と科学技術によって結びつく世界 ・地球世界の課題の探究	小テスト	小テスト レポート	リフレク ションシ ート レポート ノート

担当者からのメッセージ

様々な時代・地域においてダイナミックに展開する歴史をともに学んでいきましょう。諸資料を駆使して、現代に通じる課題を見つけ、これを検討することを通じて歴史を見る目をやしなっていきましょう。そして、それを的確な言葉で表現することを通じて、歴史を学ぶ楽しさを共有できればと思います。

令和7年度シラバス

滋賀県立彦根東高等学校

〔 地理歴史 〕 科

科目名	GS 日本史		学年	類型・コース	単位数
			3	文系・GS	4
学習の 目 標	2年次に引き続き、我が国の歴史の展開について、世界史的視野に立って各時代の特色及び変遷を総合的に考察し、我が国の文化と伝統についての認識を深めることによって、歴史的思考力を培い、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。また、日本史探究の復習を総合的に行うとともに、よりレベルの高い内容に踏み込んで、応用力を養う。				
使 用 教 材	教科書	『日本史探究』（実教出版）			
	副教材	『図説 日本史通覧』（帝国書院） 『詳録 新日本史史料集成』（第一学習社） 『時代と流れで覚える！日本史B用語』（文英堂）			
評 価	評価法	定期考査，レポート，ノート，スピーチ発表，リフレクションシートなどで評価する。			
	評価 観点の 趣旨	1	知識・技能	歴史の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解し，史資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	
		2	思考・判断・表現	歴史の展開に関わる事象の意味や意義，伝統と文化の特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察し，表現している。	
		3	主体的に学習に取り組む態度	歴史の展開に関わる諸事象について，多面的・多角的な考察や深い理解を通して現代の諸課題に対する問題意識を高め，我が国の歴史や文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末・学年末に観点別学習状況の評価（A，B，Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。				

【1学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
4 ・ 5	近世史研究 近代史研究Ⅰ	○織豊期・江戸期の日本 ○史料講読Ⅰ（江戸期の史料） ○明治期の日本	中間考査	中間考査 レポート	ノート レポート リフレクションシート
6 ・ 7	近代史研究Ⅰ 近代史研究Ⅱ	○史料講読Ⅱ（明治期の史料） ○大正期の日本 ○史料講読Ⅲ（大正期の史料）	期末考査	期末考査 レポート	ノート レポート リフレクションシート

【2学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
9 ・ 10	近代史研究Ⅲ	○昭和戦前の日本（第二次世界大戦と日本） ○史料講読Ⅳ（昭和戦前期の史料）	中間考査	中間考査 レポート	ノート レポート リフレク ションシ ート
	現代史研究	○現代の日本（占領期・高度経済成長期・現在へ） ○史料講読Ⅴ（戦後の史料）			
11 ・ 12	古代史研究 中世史研究	○古代・中世の演習 ○史料講読Ⅵ（古代・中世の史料）	期末考査	期末考査 レポート	ノート レポート リフレク ションシ ート
	全時代を通した復習問題演習	○全時代を通した問題演習			

【3学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
1	全時代を通した復習問題演習	○全時代を通した問題演習	レポート	レポート スピーチ 発表	ノート レポート スピーチ 発表 リフレク ションシ ート

担当者からのメッセージ

昨年度の内容を復習しながらも、更にレベルの高い問題に取組、応用力を身につけます。史料を通じて各時代を復習するとともに、歴史的事象に対する検証なども行います。また、論述形式の問題に取り組むことによって、論理的な思考力や説明力を養います。

令和7年度シラバス

滋賀県立彦根東高等学校

〔 地理歴史 〕 科

科目名	GS 世界史		学年	類型・コース	単位数
			3	文系・GS	4
学習の 目 標	世界の歴史をわが国の歴史と関連付けながら理解し、人類の課題を多角的に考察する。また、それによって歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。				
使 用 教 材	教科書	『新詳世界史探究』（帝国書院）			
	副教材	『最新世界史図説 タペストリー』（帝国書院） 『ウィニングコンパス世界史の整理と演習』（とうほう）			
評 価	評価法	定期考査、レポート、ノート、リフレクションシートなどで評価する。			
	評価観点の趣旨	1	知識・技能	世界の歴史の諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	
		2	思考・判断・表現	世界の歴史の諸事象について、事象の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論できる。	
		3	主体的に学習に取り組む態度	世界の歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末・学年末に観点別学習状況の評価（A，B，Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。				

【1学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
4 ・ 5	2部 諸地域の歴史的特質の形成	・南アジアと東南アジアの歴史的特質 ・西アジアと地中海周辺の歴史的特質	中間考査	中間考査レポート	リフレクションシート ノート
6 ・ 7	3部 諸地域の交流・再編	・ユーラシア大交流圏の成立 ・アジア諸地域の成熟とヨーロッパの進出 ・主権国家体制の成立と交易の拡大	期末考査	期末考査レポート	リフレクションシート ノート

【2学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
9 ・ 10	4部 諸地域の結合・変容	・環大西洋革命～工業文明と国民国家の誕生 ・イギリスの覇権と欧米の国民国家建設 ・世界の一体化の完成とその影響 ・世界大戦の時代 ・戦後の国際秩序と冷戦	中間考査	中間考査 レポート	リフレク ションシ ート ノート
11 ・ 12	5部 地球世界の課題	・冷戦の展開と平和の模索 ・グローバル化する国際秩序とその課題	期末考査	期末考査 レポート	リフレク ションシ ート ノート

【3学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
1	5部 地球世界の課題	・情報と科学技術によって結びつく世界 ・地球世界の課題の探究	レポート	レポート	リフレク ションシ ート ノート

担当者からのメッセージ

思考力・応用力・表現力の前提には正確な知識が必要です。細部まで正確にインプットしたうえで、必要に応じて引き算・合理化・再構成をしてゆけばよいのです。まずは正確に「覚える」努力を怠らねない旨、担当者から強く申し上げたいと思います。

令和7年度シラバス

滋賀県立彦根東高等学校

[公民] 科

科目名	GSCvics		学年	類型・コース	単位数
			3	文系・GS	4
学習の目標	公共で学んだ概念などを活用し、現代社会の複雑な諸課題について探究することで、主体的に生きる国民主権を担う公民として、またグローバル化する国際社会に生きる平和で民主的な社会の形成者としての資質・能力を身につける。				
使用教材	主たる教材	『詳述 公共』（実教出版） 『詳述 政治・経済』（実教出版）			
	副教材	『最新図説 政経』（浜島書店） 『実践攻略 公共 政治・経済 大学入学共通テスト問題集』（実教出版）			
評価	評価法	定期考査、レポート、ノート、リフレクションシートなどで評価する。			
	評価観点の趣旨	1	知識・技能	諸資料から、社会的事象に関する様々な情報を入手するとともに、効果的に調べまとめる技能を身につけることができる。	
		2	思考・判断・表現	現代社会の諸課題の解決に向けて、諸資料の信頼性を踏まえつつ適切に活用したり、考察、構想の過程と結果を整理し発表したりすることで、多面的・多角的で公正な判断をすることができる。	
		3	主体的に学習に取り組む態度	情報の収集、処理、発表などについて、多様な情報手段を用い積極的に活動を行っている。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末・学年末に観点別学習状況の評価（A，B，Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。				

【1学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
4 5	国内政治	政治と法 人権保障の発展 世界の政治体制 日本国憲法 立法・行政・司法 地方自治 選挙制度	中間考査	中間考査 レポート	リフレク ションシ ート ノート
6 7	国際政治	国際社会と国際法 国際連合 国際政治の動向 核兵器・軍縮問題 人権・民族問題 国際政治の中の日本	期末考査	期末考査 レポート	リフレク ションシ ート ノート

【2 学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点 1	観点 2	観点 3
9 10	国内経済	経済社会の発展 経済の循環と企業 市場経済の機能と限界 国民所得と国富 経済成長と景気変動 物価の動き 金融の役割 財政の役割 日本経済の歩み 高度情報化社会 中小企業と日本経済 日本の農業・食料問題 消費者保護 公害防止と環境保全 労使関係と労働市場 社会保障と社会福祉	中間考査	中間考査 レポート	リフレク ションシ ート ノート
11 12	国際経済	貿易と国際収支 国際経済のしくみ 国際経済における日本 南北問題 人口・食料問題 地球環境問題 資源・エネルギー問題	期末考査	期末考査 レポート	リフレク ションシ ート ノート

【3 学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点 1	観点 2	観点 3
1	共通テスト演習	公共・政経の共通テスト形式の問題演習	レポート	レポート	リフレク ションシ ート

担当者からのメッセージ

公共で学んだ内容をさらに深め、現代の諸課題の解決のために、様々な角度から考察できる力をつけましょう。一公民としての『あるべき姿』と、社会の形成者としての自分の『ありたき姿』を合成し、目まぐるしく変化する現代社会においていつまでも幸せに生きることができる『超人』になりましょう。

令和7年度シラバス

滋賀県立彦根東高等学校

[外国語] 科

科目名	英語コミュニケーションⅢ		学年	類型・コース	単位数
			3	全	4
学習の目標	「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ」で培った、英語を主体的に使用してコミュニケーションを図る姿勢を土台に学習する。日常的・社会的な話題のみならず、より学術的な話題を通じて、必要な情報や概要、相手の考えなどを的確に理解したり、論理性（一貫性や理由根拠の適切さ）に注意して適切に伝えたりする能力の定着と活用を目指す。				
使用教材	教科書	ELEMENT English Communication Ⅲ（啓林館）			
	副教材	「必携英単語 LEAP」（数研出版）、「共通テストリスニング分野別 10min.」（エミル出版）「基礎英文問題精講 4 訂版」（旺文社）、「Cutting Edge Orange」（エミル出版）、「LOOP2 改訂版（啓隆社）、「共通テスト英語模擬演習 40」（エミル出版）			
評価	評価法	定期考査、課題考査、学力考査、小テスト、パフォーマンス課題、提出物などで評価します。			
	評価観点の趣旨	1	知識・技能	英語使用時に必要な語彙や表現の意味や働きを理解している。また、それらを正しく使用する技能を身に付けている。	
		2	思考・判断・表現	知識・技能を活用して課題を解決するのに必要な思考力・判断力・表現力を身に付けている。	
		3	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能および思考力・判断力・表現力などを身に付ける取り組みの中で、自らの学習を調整しようとしている。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末・学年末に観点別学習状況の評価（A，B，Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。				

【1学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
4 5	Lesson 1 Energy (Numbers Don't Lie: Which Is Eco-Friendly?) Lesson 2 Environment and Life (Environment or Orangutans?) Lesson 3 Health and Life (Sleeping)	Lesson 1 移動の際に最も環境負荷の低い交通手段について、4 技能を活用しながら理解して考えを深める。 Lesson 2 環境保護がオランウータンを減少させるのか、ということについて、4 技能を活用しながら理解して考えを深める。 Lesson 3 人は何時間眠ればよいのか、人は睡眠を奪われるとどうなるのかについて、4 技能を駆使して意見を交換する。	①② ③	①③	③④ ⑤

6 7	Lesson 4 Humans and Technology (The Digital-Era Brain: Damaged or Improved?)	Lesson 4 インターネットは記憶力をダメにしたのか、デジタル時代の記憶力の変化について、4 技能を活用しながら理解して考えを深める。	①② ③	①③	③④ ⑤
	Lesson 5 Diversity (Emoji-The Language of the Online World)	Lesson 5 絵文字の抱える多様性への問題について、4 技能を活用しながら理解して考えを深める。			
	Lesson 6 Education (A Class from Stanford University)	Lesson 6 5 ドルと 2 時間で何ができるのかについて、4 技能を駆使して意見を交換する。			

【2 学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点 1	観点 2	観点 3
9 10	Lesson 7 Miracles of Nature (Not All Eggs Are Created Equal)	Lesson 7 卵の形はなぜ違うのかについて、4 技能を活用しながら理解して考えを深める。	①② ③	①③	③④ ⑤
	Lesson 8 Sustainable Development (The Present and Future of Food Tech)	Lesson 8 持続可能な社会を目指すフードテック産業について、4 技能を活用しながら理解して考えを深める。			
	Lesson 9 Art and Heart (Praying Hands)	Lesson 9 デューラーの「祈りの手」にまつわる逸話について、4 技能を駆使して意見を交換する。			
	Lesson 10 Human Relationships (All the Good Things)	Lesson 10 人生を支えた学校時代の思い出について、4 技能を駆使して意見を交換する。			
11 12	入試対策演習	共通テスト・二次試験に向けた演習	① ②③	① ③	③④

【3 学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点 1	観点 2	観点 3
1	入試対策演習	共通テスト・二次試験に向けた演習	④	④	④

(進度表の補足)

「評価記録」… ①定期考査、②課題考査・学力考査、③小テスト、④提出物、⑤パフォーマンス課題

担当者からのメッセージ

4 技能 (5 領域) を意識したさまざまな活動を行うことにより内容の理解を深めていきます。また、副教材の確認テスト・課題提出を随時行うことにより、学力の伸長を図ります。日々の授業を真剣に取り組み、進路実現に向けて頑張っていきましょう、★進度については、生徒の学習状況により変更する場合があります。

令和7年度シラバス

滋賀県立彦根東高等学校

[GS] 科 (外国語科)

科目名	GS 論理・表現Ⅲ		学年	類型・コース	単位数
			3	普・GS(理)	2
学習の目標	国際的な視野に立ち、英語を通じて、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。「GS 論理・表現Ⅰ・Ⅱ」で習得した知識を活かし、意見や事実を適切な表現で話したり、書いたりする能力の定着を図る。また、ある程度の文量で、論理的な展開かつ伝わりやすい英作文を作成し、人前で発表できる技能を身に着ける。				
使用教材	教科書	Vision Quest English Logic and Expression Ⅲ			
	副教材	入試必携英作文 Write to the Point (数研出版)、英文法・語法 Vintage 3rd Edition (いっずな書店)、スマートコレクション (啓林館)			
評価	評価法	定期考査、課題考査、学力考査、小テスト、パフォーマンス課題(学期ごとのレポート)、課題の取り組み状況を総合的に判断して評価します。			
	評価観点の趣旨	1	知識・技能	基本的な英文法・構文や重要表現が定着できている。 語法やイディオムの習得ができている。	
		2	思考・判断・表現	学習した知識・技能を活用し、まとまった分量の英文を正しく論理的に書き（話し）表現することができる。	
		3	主体的に学習に取り組む態度	与えられた課題に取り組むとともに、自ら進んで学習し、調整しようする姿勢を示している。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末・学年末に観点別学習状況の評価（A，B，Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。				

【1学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
4 5	教科書： Lesson 1～5 Write to the Point： 8章～12章(Exercises A)	教科書： 英作文―意見型、比較・対比型、 説明・描写型 Write to the Point： 関係詞、時間の表現、数字の表現、仮定・ 条件	①② ③⑥	①⑥	③④ ⑤⑥
6 7	教科書： Lesson 6～10 Write to the Point： 13章～18章(Exercises A)	教科書： 英作文―意見型、比較・対比型 Write to the Point： 比較、譲歩の表現、重要表現、Aは…だ	①③⑥	①⑥	③④ ⑤⑥

【2学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
9 10	教科書： Lesson 11～15 Write to the Point： 1章～9章(Exercises B)	教科書： 英作文—グラフ読み取り型、意見型、比較・対比型、原因・結果型 Write to the Point： 主語の決定、目的の表現、理由の表現、時制、動詞の語法、関係詞、時間の表現	①② ③⑥	①⑥	③④ ⑤⑥
11 12	教科書： Lesson 16～20 Write to the Point： 10章～18章(Exercises B)	教科書： 英作文—問題解決型、比較・対比型、意見型、グラフ読み取り型 Write to the Point： 数字の表現、仮定・条件、比較、譲歩の表現、重要表現、Aは…だ	①② ③⑥	①⑥	③④ ⑤⑥

【3学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
1	入試対策演習	国公立二次・私大入試に向けた対策演習	④	④	④

(進度表の補足)

「評価記録」… ①定期考査、②課題考査・学力考査、③小テスト、④ノート・提出物、⑤パフォーマンス課題、⑥振り返りシート

担当者からのメッセージ

「GS 論理・表現Ⅲ」では、5領域まんべんなく扱いながらも、「書くこと」「話すこと[発表]」の技能養成に焦点を当てて授業を行います。「GS 論理・表現Ⅰ・Ⅱ」で習得した文法事項や表現を活用しながら、英語を書いたり話したりして伝えることの面白さ、日本語と英語の違いを体感しながら学習していきましょう。

★進度については、生徒の学習状況により変更する場合があります。

令和7年度シラバス

滋賀県立彦根東高等学校

[GS] 科 (外国語科)

科目名	GS 論理・表現Ⅲ		学年	類型・コース	単位数
			3	GS(文)	3
学習の目標	国際的な視野に立ち、英語を通じて、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。「GS 論理・表現Ⅰ・Ⅱ」で習得した知識を活かし、意見や事実を適切な表現で話したり、書いたりする能力の定着を図る。また、ある程度の文量で、論理的な展開かつ伝わりやすい英作文を作成し、人前で発表できる技能を身に着ける。				
使用教材	教科書	Vision Quest English Logic and Expression Ⅲ			
	副教材	入試必携英作文 Write to the Point (数研出版)、英文法・語法 Vintage 3rd Edition (いっずな書店)、スマートコレクション (啓林館)			
評価	評価法	定期考査、課題考査、学力考査、小テスト、パフォーマンス課題(学期ごとのレポート)、課題の取り組み状況を総合的に判断して評価します。			
	評価観点の趣旨	1	知識・技能	基本的な英文法・構文や重要表現が定着できている。 語法やイディオムの習得ができている。	
		2	思考・判断・表現	学習した知識・技能を活用し、まとまった分量の英文を正しく論理的に書き（話し）表現することができる。	
		3	主体的に学習に取り組む態度	与えられた課題に取り組むとともに、自ら進んで学習し、調整しようする姿勢を示している。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末・学年末に観点別学習状況の評価（A，B，Cの3段階）および評定（１～５の５段階）にまとめます。				

【1学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
4 5	教科書： Lesson 1～5 Write to the Point： 8章～12章(Exercises A) プリント演習	教科書： 英作文―意見型、比較・対比型、 説明・描写型 Write to the Point： 関係詞、時間の表現、数字の表現、仮定・ 条件 和文英訳・自由英作文演習	①② ③⑥	①⑥	③④ ⑤⑥
6 7	教科書： Lesson 6～10 Write to the Point：	教科書： 英作文―意見型、比較・対比型 Write to the Point：	①③⑥	①⑥	③④ ⑤⑥

	13 章～18 章(Exercises A)	比較、譲歩の表現、重要表現、A は…だ			
	プリント演習	和文英訳・自由英作文演習			

【2 学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点 1	観点 2	観点 3
9 10	教科書： Lesson 11～15 Write to the Point： 1 章～9 章(Exercises B) プリント演習	教科書： 英作文—グラフ読み取り型、意見型、比較・対比型、原因・結果型 Write to the Point： 主語の決定、目的の表現、理由の表現、時制、動詞の語法、関係詞、時間の表現 和文英訳・自由英作文演習	①② ③⑥	①⑥	③④ ⑤⑥
11 12	教科書： Lesson 16～20 Write to the Point： 10 章～18 章(Exercises B) プリント演習	教科書： 英作文—問題解決型、比較・対比型、意見型、グラフ読み取り型 Write to the Point： 数字の表現、仮定・条件、比較、譲歩の表現、重要表現、A は…だ 和文英訳・自由英作文演習	①② ③⑥	①⑥	③④ ⑤⑥

【3 学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点 1	観点 2	観点 3
1	入試対策演習	国公立二次・私大入試に向けた対策演習	④	④	④

(進度表の補足)

「評価記録」… ①定期考査、②課題考査・学力考査、③小テスト、④ノート・提出物、⑤パフォーマンス課題、⑥振り返りシート

担当者からのメッセージ

「GS 論理・表現Ⅲ」では、5 領域まんべんなく扱いながらも、「書くこと」「話すこと[発表]」の技能養成に焦点を当てて授業を行います。「GS 論理・表現Ⅰ・Ⅱ」で習得した文法事項や表現を活用しながら、英語を書いたり話したりして伝えることの面白さ、日本語と英語の違いを体感しながら学習していきましょう。

★進度については、生徒の学習状況により変更する場合があります。

令和 7 年度シラバス

滋賀県立彦根東高等学校

[数学] 科

科目名	数学総合		学年	類型・コース	単位数
			3	文系	4
学習の 目 標	入試問題を利用して、１・２年次に学習した内容を総合的、発展的に理解する。				
使 用 教 材	主たる 教材	Focus Gold 5th Edition 数学Ⅱ+B+ベクトル(数学C)（啓林館）			
	副教材	システム数学 入試必修問題集 練磨 6thFdition 国公立大学編 数学Ⅰ・Ⅱ・A・B+数学C(ベクトル)（啓林館/河合塾）			
評 価	評価 法	考查、提出物、授業（発表）態度			
	評価 観 点 の 趣 旨	1	知識・技能	基礎的な公式を使って問題が解けるか。	
		2	思考・判断・表現	公式の意味や導かれる過程を理解しているか。	
		3	主体的に学習に 取り組む態度	提出物および授業での発表。小テスト。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末・学年末に観点別学習状況の評価（A，B，Cの3段階）および評定（１～５の５段階）にまとめます。				

【1 学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
4	演習	数と式、関数と方程式分野の復習問題演習	中間考查	中間考查	課題
5	大学入試共通テストレ	式と証明、論理分野の復習問題演習			
6	ベルの問題を演習形式	整数分野の復習問題演習	期末考查	期末考查	課題
7	で行い、基本事項の確認 と既習の学習内容の理 解を深める。	場合の数、確率分野の復習問題演習	中間考查	中間考查	小テスト 発表態度
			期末考查	期末考查	小テスト 発表態度

【2 学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点 1	観点 2	観点 3
9	演習(2単位をクラス共通 2単位を2コースに分割) 大学入試共通テストレベルの問題を演習形式で行い、基本事項の確認と既習の学習内容の理解を深める。	図形分野の復習問題演習 三角・指数・対数関数分野の復習問題演習 ベクトル・数列分野の復習問題演習 微分法・積分法分野の復習問題演習	中間考査	中間考査	課題
10			確認考査	確認考査	小テスト
11			中間考査	中間考査	発表態度
12			期末考査	期末考査	小テスト 発表態度

【3学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点 1	観点 2	観点 3
1	演習(4単位をクラス共通) 大学入試共通テストレベルの問題を演習形式で行い、基本事項の確認と既習の学習内容の理解を深める。	総合演習	提出物	提出物	提出物
担当者からのメッセージ					
演習においては、問題を解いて終わりではなく、そこから何を学ぶのかを問い続けること。					

令和 7 年度シラバス

滋賀県立彦根東高等学校

[数学] 科

科目名	数学総合		学年	類型・コース	単位数
			3	GS／理系	3
学習の 目 標	入試問題を利用して、１・２年次に学習した内容を総合的、発展的に理解する。				
使 用 教 材	主たる 教材	Focus Gold 5th Edition 数学Ⅰ+A Focus Gold 5th Edition 数学Ⅱ+B+ベクトル(数学C)(啓林館)			
	副教材	システム数学 入試必携問題集『練磨』6th Edition Ⅰ・Ⅱ・A・B+C〔ベクトル〕(啓林館)			
評 価	評価法	考查、提出物、授業（発表）態度			
	評価 観点 の 趣旨	1	知識・技能	基礎的な公式を使って問題が解けるか。	
		2	思考・判断・表現	公式の意味や導かれる過程を理解しているか。	
		3	主体的に学習に取り組む態度	提出物および授業での発表。小テスト。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末・学年末に観点別学習状況の評価（A，B，Cの3段階）および評定（１～５の５段階）にまとめます。				

【1学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
4 5	数学C 複素数平面	*ド・モアブルの定理を理解する。 *複素数平面上における図形の移動と複素数の演算規則を対応させて考察する。	中間考查	中間考查	課題
6 7	大学入試共通テストレベルの問題を演習形式で行い、基本事項の確認と既習の学習内容の理解を深める。	数と式、関数と方程式分野の復習問題演習 式と証明、論理分野の復習問題演習 整数分野の復習問題演習	期末考查	期末考查	発表態度 小テスト

【2学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
9	大学入試共通テストレベルの問題を演習形式で行い、基本事項の確認と既習の学習内容の理解を深める。	場合の数、確率分野の復習問題演習	確認考査	確認考査	発表態度
10		図形分野の復習問題演習	中間考査	中間考査	小テスト
11		三角・指数・対数関数分野の復習問題演習			
12		ベクトル・数列分野の復習問題演習 微分法・積分法分野の復習問題演習	期末考査	期末考査	発表態度 小テスト

【3学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
1	大学入試共通テストレベルの問題を演習形式で行い、基本事項の確認と既習の学習内容の理解を深める。	総合演習	提出物	提出物	提出物
担当者からのメッセージ 問題を解いて終わりではなく、そこから何を学ぶのかを問い続けること。					

令和 7 年度シラバス

滋賀県立彦根東高等学校

[数学] 科

科目名	GS 数学Ⅲ		学年	類型・コース	単位数
			3	GS／理系	3
学習の 目 標	「微分・積分」を中心に理解することを目標とし、知識の習得と技能の習熟を図る。 また、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばし、高校数学の完成を図る。				
使 用 教 材	教科書	NEXT 数学Ⅲ			
	副教材	CONNECT 数学Ⅲ+C[複素数平面，式と曲線]（数研出版） Focus Gold 5th Edition 数学Ⅲ（啓林館）			
評 価	評価法	考査、提出物、授業態度により総合的に評価する。			
	評価 観点 の 趣 旨	1	知識・技能	定理や公式が正しく理解され、使うことができるか。	
		2	思考・判断・表現	応用問題に取り組む力がついているか。	
		3	主体的に学習に 取り組む態度	授業態度ならびに提出物が良好であるか。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末・学年末に観点別学習状況の評価（A，B，Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。				

【1 学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点 1	観点 2	観点 3
4	数学Ⅲ 第 5 章『積分法とその 応用』	＊不定積分及び定積分の基本的な性質を理解し、不定積分や定積分を求めることができる。 ＊置換積分法、部分積分法について理解し、それらを用いて不定積分や定積分を求めることができる。 ＊定積分を利用して、いろいろな曲線で囲まれた図形の面積や立体の体積及び曲線の長さを求めることができる。	中間考査	中間考査	課題
5					
6					
7			期末考査	期末考査	課題

【2学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
9	演習	関数と曲線、数列と極限分野の復習問題演習	確認考査	確認考査	課題
10		微分法分野の復習問題演習	中間考査	中間考査	課題
11		積分法分野の復習問題演習	期末考査	期末考査	課題
12		複素数平面分野の復習問題演習			

【3学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
1	演習	数学Ⅲの総合演習	提出物	提出物	提出物
担当者からのメッセージ 計算力がものをいう場面が増えてくるので、日頃から計算力を向上させるための努力と工夫を怠らないこと。また、日々の予習・復習を着実にを行うこと。					

令和7年度シラバス

滋賀県立彦根東高等学校

[理] 科

科目名	化学研究		学年	類型・コース	単位数
			3	GS/文	2
学習の 目 標	既習の学習内容を問題演習などで確認し、理解を深める。基本事項を押さえつつ、科学的に論理立てた思考ができるようにする。				
使 用 教 材	主たる 教材	サイエンスビュー新化学資料（実教出版）			
	副教材	リードLight ノート化学基礎（数研出版） チェック&演習化学基礎（数研出版）			
評 価	評価 法	授業態度及び課題への取り組む意欲や関心を判断する。また、定期考査や実力考査により、教科の知識・理解力の確認を行う。以上を踏まえて総合的に判断し、評価する。			
	評価 観 点 の 趣 旨	1	知識・技能	化学に関する事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。	
		2	思考・判断・表現	化学的な事物・現象に問題を見出し、研究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	
		3	主体的に学習に取り組む態度	化学的な事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身につけている。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末・学年末に観点別学習状況の評価（A，B，Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。				

【1学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
4	化学基礎の復習	リードLight ノート利用 物質の構成・物質の構成粒子・粒子の結合	定期考査	定期考査	生徒観察 課題
5	化学基礎の復習	リードLight ノート利用 物質量と化学反応式			
6	化学基礎の復習	リードLight ノート利用 酸と塩基の反応・酸化還元反応			
7	化学基礎の復習	リードLight ノート利用 電池と電気分解			

【2 学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点 1	観点 2	観点 3
9	化学基礎の復習	チェック&演習利用 共通テスト対策問題演習	定期考査	定期考査	生徒観察 課題
10	化学基礎の復習	チェック&演習利用 共通テスト対策問題演習			
11	化学基礎の復習	チェック&演習利用 共通テスト対策問題演習			
12	化学基礎の復習	化学基礎共通テスト対策総合問題演習			

【3 学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点 1	観点 2	観点 3
1	化学基礎の復習	化学基礎共通テスト対策総合問題演習	課題	課題	課題

担当者からのメッセージ

1 年次に既習の学習内容である化学基礎の知識を問題演習などで確認し、理解を深めることが目的です。基本事項を押さえることはもちろんですが、より発展的な問いを科学的に論理立てて考えることができる思考力を身に付けてほしいと思います。最終的には共通テスト化学基礎で満点が取れるようになってもらつてもいいです。

令和7年度シラバス

滋賀県立彦根東高等学校

[理] 科

科目名	生物研究			学年	類型・コース	単位数
				3	文系	2
学習の目標	生命の神秘に触れながら、科学的な物の見方、考え方を養う。					
使用教材	主たる教材	高等学校 生物基礎(第一学習社)				
	副教材	新課程版スクエア最新図説生物 スタディーアップノート生物基礎 (数研出版)				
評価	評価法	定期考査、実験レポート、問題集ノート、発問評価、パフォーマンス(P)課題 (課題プリント、単元末評価課題)				
	評価観点の趣旨	1	知識・技能	生物や生物現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。		
		2	思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。		
		3	主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。		
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末・学年末に観点別学習状況の評価 (A, B, Cの3段階) および評定 (1～5の5段階) にまとめます。					

【1学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
4	生物の多様性と共通性 エネルギーと代謝	入試問題をベースにした問題演習・解説	中間考査 実験観察	中間考査 実験観察 実験レポート P課題 発問評価	実験観察 実験レポート P課題 問題集ノート
5	遺伝子とそのはたらき	入試問題をベースにした問題演習・解説			
6	生物の体内環境(1)	入試問題をベースにした問題演習・解説	期末考査 実験観察	期末考査 実験観察 実験レポート P課題 発問評価	実験観察 実験レポート P課題 問題集ノート
7	生物の体内環境(2)	入試問題をベースにした問題演習・解説			

【2 学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点 1	観点 2	観点 3
9	生物の体内環境 (2)	入試問題をベースにした問題演習・解説	中間考査 実験観察 実験レポート P 課題 発問評価	中間考査 実験観察 実験レポート P 課題 発問評価	実験観察 実験レポート P 課題 問題集ノート
10	生物基礎総合演習	実戦形式の問題演習・解説			
11	生物基礎総合演習	実戦形式の問題演習・解説	期末考査 実験観察 実験レポート P 課題 発問評価	期末考査 実験観察 実験レポート P 課題 発問評価	実験観察 実験レポート P 課題 問題集ノート
12	生物基礎総合演習	実戦形式の問題演習・解説			

【3 学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点 1	観点 2	観点 3
1	生物基礎総合演習	実戦形式の問題演習・解説	演習問題	演習問題	演習問題

担当者からのメッセージ

考査の採点時には、観点別問題ごとの得点を記録し評価に活用する。また、実験観察の取り組み状況、問題集ノートの取り組み状況、実験レポートのスケッチ・記録・考察等も観点別評価に反映する

令和7年度シラバス

滋賀県立彦根東高等学校

[理] 科

科目名	地学研究		学年	類型・コース	単位数
			3	文系	2
学習の 目 標	1 学期に基礎の定着を図り、夏以降に問題演習を通して思考力、表現力を伸ばす。また、実験実習を通して科学的に思考する力、表現する力をつける。				
使 用 教 材	主たる 教材	ニューステージ地学図表（浜島書店）			
	副教材	センサー地学基礎(啓林館) チェック&演習地学基礎（数研出版）			
評 価	評価法	定期考査、実験実習レポート・問題集ノートなどの提出物、単元末評価課題、授業態度（発問評価、出席状況など）			
	評価観点の趣旨	1	知識・技能	地学に関する事物・現象について、基本的な概念や原理を理解し、知識を身につけている。また、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。	
		2	思考・判断・表現	地学に関する事物・現象の中に問題を見だし、研究する過程を通して事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現できる。	
		3	主体的に学習に取り組む態度	地学に関する事物・現象に関心、探求心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末・学年末に観点別学習状況の評価（A，B，Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。				

【1学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
4	第3部 地層の読み方	流水の働きと地形、地層の重なり方と堆積構造（地質断面図、柱状図など）と地史の基礎から演習まで	中間考査 実験観察	中間考査 実験観察 実験レポート	実験観察 実験レポート 問題集ノート
5	第4部 自然との共生 地学基礎の基本演習	2年次に行った環境問題や自然災害についてのまとめ 教科書の重要語句などのまとめ			
6	地学基礎の基本演習	5冊の教科書の章末問題の演習 チェック&演習を利用したの共通テスト対策問題演習	期末考査 実験観察	期末考査 実験観察 実験レポート	実験観察 実験レポート 問題集ノート
7	地学基礎の基本演習	チェック&演習を利用したの共通テスト対策問題演習			

【2 学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点 1	観点 2	観点 3
9	共通テスト対策演習 1	チェック&演習を利用した共通テスト対策問題演習	中間 調査 実験 観察	中間 調査 実験 観察 実験 レポート P 課題 発問 評価	実験 観察 実験 レポート P 課題 問題 集ノート
10	地学基礎総合演習	実戦形式の問題演習・解説			
11	地学基礎総合演習	実戦形式の問題演習・解説	期末 調査	期末 調査	生徒 観察 課題
12	地学基礎総合演習	実戦形式の問題演習・解説			

【3 学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点 1	観点 2	観点 3
1	地学基礎総合演習	実戦形式の問題演習・解説	演習 問題	演習 問題	演習 問題

担当者からのメッセージ

考查の採点時には、観点別問題ごとの得点を記録し評価に活用する。また、実習レポートの取り組み状況、問題集ノートなど課題の取り組み状況、等も観点別評価に反映する。「授業で理解する」という気持ちで毎時間取り組みましょう。

令和7年度シラバス

滋賀県立彦根東高等学校

[G S] 科

科目名		GS物理		学年	類型・コース	単位数
				3	GS／理	4
学習の目標		物理への興味関心を高め、知識はもちろんのこと、実験などを通して、深い学びにつながる探究心を育む。また、キャリア教育へつながる、興味関心を高める発展的な内容を取り扱い、思考力や応用力を育成する。				
使用教材		教科書	[物理基礎] 物理基礎（数研出版） [G S 物理] 総合物理 1（数研出版） 総合物理 2（数研出版）			
		副教材	リードα 物理基礎・物理（数研出版） 物理図録（数研出版）			
評価		評価法	授業の集中度、実験への取組やレポートの内容、小テスト・定期考査・課題考査の得点などを総合的に扱う。			
		評価観点の趣旨	1	知識・技能	物理の事物・現象に対する概念や原理・法則を理解し、知識・技能を身に付けている。	
			2	思考・判断・表現	物理的な見方や考え方をを用いて探究することを通じて、考えたり判断したり表現したりしている。	
			3	主体的に学習に取り組む態度	主体的に知識・技能を身に付けたり、思考・判断・表現をしようとしていたりしている。	
上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末・学年末に観点別学習状況の評価（A，B，Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。						

【1学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
4	波動	光波 ・光の性質 ・レンズ ・光の干渉と回折	定期考査	定期考査	生徒観察 課題 小テスト 実験レポート
5	熱	熱力学 ・熱とエネルギー ・気体の法則 ・気体分子の運動 ・気体の状態変化			
6	電磁気	電気と磁気 ・静電気力と電場・電位			
7	電磁気	電気と磁気 ・コンデンサー			

【2学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
9	電磁気	電気と磁気 ・電流 ・電流と磁場	定期考査	定期考査	生徒観察 課題 小テスト 実験レポート
10	電磁気 原子	電気と磁気 ・交流と電気振動 原子 ・電子と光			
11	物理学と社会	エネルギーの利用			
12	物理学全般	力学・熱力学・波動分野の復習問題演習 電磁気・原子物理分野の復習問題演習			

【3学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
1	物理学全般	力学・熱力学・波動分野の復習問題演習 電磁気・原子物理分野の復習問題演習	定期考査	定期考査	生徒観察 課題 小テスト 実験レポート

担当者からのメッセージ

物理の問題を解くときは論理立てて解答のストーリーを確認しながら解くことを心掛ける。物理の考査において、根拠が不十分な解答は、答えが正しくても減点の対象となる。手間なようだが、模範解答のように誰もが納得できる解答を目指し、頭の中で整理をしながら解くようにすること。これを繰り返すことで、初見の問題に対しても解答の糸口が掴めるようになり、受験問題にも対応できるようになる。

令和7年度シラバス

滋賀県立彦根東高等学校

[理] 科

科目名	GS 化学		学年	類型・コース	単位数
			3	GS/理	4
学習の 目 標	物質に対する理解を深める過程で、化学的に探究する基礎的能力や態度を養い、基本的概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を身につける。				
使 用 教 材	教科書	化学（数研出版）			
	副教材	セミナー化学基礎＋化学（第一学習社） 化学重要問題集（数研出版） チェック＆演習化学（数研出版） サイエンスビュー新化学資料（実教出版）			
評 価	評価法	定期考査の点数、実験実習の取組状況、および、実験レポート・プリント課題・自主学習用ノートなどの提出物の内容をもとに評価する。			
	評価観点の趣旨	1	知識・技能	化学に関する事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。	
		2	思考・判断・表現	化学的な事物・現象に問題を見出し、研究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	
		3	主体的に学習に取り組む態度	化学的な事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探知しようとするとともに、科学的態度を身につけている。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末・学年末に観点別学習状況の評価（A，B，Cの3段階）および評定（１～５の５段階）にまとめます。				

【1学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
4	非金属元素 金属元素	・15族14族元素 ・アルカリ金属元素 ・アルカリ土類金属元素	定期考査	定期考査	生徒観察 課題 実験 レポート
5	金属元素	・遷移元素 ・金属イオンの系統分離			
6	有機化合物	・有機化合物の分類と分析 ・脂肪族炭化水素			
7	アルコールと 関連化合物	・アルコールとエーテル ・アルデヒドとケトン ・カルボン酸			

【2学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
9	アルコールと 関連化合物 芳香族化合物	・エステル, 油脂 ・芳香族炭化水素 ・フェノール類 ・芳香族カルボン酸	定期考査	定期考査	生徒観察 課題 実験 レポート
10	芳香族化合物 高分子化合物	・芳香族アミン ・高分子の構造と性質 ・天然高分子化合物			
11	高分子化合物 理論計算分野の復習	・合成高分子化合物 ・理論計算の問題演習			
12	無機・有機分野の 復習 総合問題演習	・無機, 有機分野の問題演習 ・総合問題演習			

【3学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
1	総合問題演習	・総合問題演習	課題	課題	課題
担当者からのメッセージ 授業は、プリントを基に、資料集/教科書(タブレットからも閲覧可)や電子黒板等の視聴覚設備を用いて行います。主体的に取り組む工夫をしてください。実験については、予習が大切でイメージを持って取り組めるようにしてください。理系にとって化学は入試でも必須の科目となりますが、それ以上に、化学は日常の事象に深く関わる学問です。試験のためだけではなく、化学と日常生活との関わりを意識しながら、純粋に化学への興味を高めていってもらえると嬉しいです。					

令和7年度シラバス

滋賀県立彦根東高等学校

[GS] (理科)

科目名	GS 生物		学年	類型・コース	単位数
			3	GS/理	4
学習の目標	生命の神秘に触れながら、科学的な物の見方、考え方を養う。				
使用教材	教科書	高等学校生物（第一学習社）			
	副教材	資料集：七訂版スクエア最新図説生物（第一学習社） 問題集：リードα生物（数研出版）			
評価	評価法	定期考査、実験レポート、問題集ノート、発問評価、パフォーマンス(P)課題（課題プリント、単元末評価課題）			
	評価観点の趣旨	1	知識・技能	生物や生物現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。	
		2	思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。	
		3	主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末・学年末に観点別学習状況の評価（A，B，Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。				

【1学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
4	第5章 遺伝情報とその発生 1. DNAの複製 2. 遺伝子の発現	・真核細胞において転写が開始されるしくみについて理解する。 ・選択的スプライシングによって、1種類のmRNA前駆体から2種類以上のmRNAがつくられることを理解する。	中間考査 実験観察	中間考査 実験観察 実験レポート P課題 発問評価	実験観察 実験レポート P課題 問題集ノート
5	第6章 遺伝情報の発現調節と発生 1. 遺伝子の発現調節 2. 発生と遺伝子の発現	・原核生物における転写・翻訳の過程について理解する。 ・原核生物におけるラクトースオペロンの発現調節について理解する。			
6	第7章 遺伝子を扱う技術とその応用 1. 遺伝子を扱う技術 発現を解析する方法	・真核生物における遺伝子の発現調節について理解する。 ・クローニングの方法やPCR法について、用いる酵素などの働きを理解する。	期末考査 実験観察	期末考査 実験観察 実験レポート P課題 発問評価	実験観察 実験レポート P課題 問題集ノート
7	2. 遺伝子を扱う技術の応用	・塩基配列解析の原理や、用いる酵素などの働きを理解する。			

【2学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
9	第8章 動物の反応と行動 1. 刺激の受容と反応 2. 動物の行動 第9章 植物の成長と環境 応答 1. 植物と環境 2. 植物の一生と植物 ホルモン 第10章 生態系のしくみ と人間の関わり	・全か無かの法則について理解する。 ・神経筋標本に関する資料にもとづいて、運動ニューロンの興奮頻度と筋収縮のしくみとの関連について理解する。 ・生得的行動と習得的行動の特徴を、神経回路の変化の有無の違いから理解する。 ・植物ホルモンの特徴について理解する。 ・花芽形成を促進するタンパク質の働きについて理解する。 ・個体群と相互作用について理解する。	中間調査 実験観察 実験観察	中間調査 実験観察 実験レポート P課題 発問評価	実験観察 実験レポート P課題 問題集ノート
	1. 個体群と生物群集 2. 生態系の物質生産と消費 3. 生態系と人間生活	・生態系における物質生産について理解する。 ・エネルギーは生態系内を一方向に移動することを理解する。 ・生物多様性の3つのとらえ方を理解する。 ・生態系に影響を与える人間活動と保全活動について積極的に調査し、調査結果を報告書などにまとめる。			
11	生物総合演習	実戦形式の問題演習・解説	期末調査 実験観察 実験観察	期末調査 実験観察 実験レポート P課題 発問評価	実験観察 実験レポート P課題 問題集ノート
12	生物総合演習	実戦形式の問題演習・解説			

【3学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
1	生物総合演習	実戦形式の問題演習・解説	演習問題	演習問題	演習問題
担当者からのメッセージ					
考査の採点時には、観点別問題ごとの得点を記録し評価に活用する。また、実験観察の取り組み状況、問題集ノートの取り組み状況、実験レポートのスケッチ・記録・考察等も観点別評価に反映する。					

令和7年度シラバス

滋賀県立彦根東高等学校

[保健体育] 科

科目名	体育		学年	類型・コース	単位数
			3	全	3
学習の 目 標	心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する				
使 用 教 材	教科書	新高等保健体育（大修館書店）			
	副教材				
評 価	評価法	授業中の行動観察、記録会や試合・発表会の結果分析、ワークシート、ノート、スキルテスト、レポート課題(体育理論)			
	評価観点の趣旨	1	知識・技能	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。	
		2	思考・判断・表現	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	
		3	主体的に学習に取り組む態度	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末・学年末に観点別学習状況の評価（A，B，Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。				

【1学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
4	体づくり運動	・体づくり運動 ・東高体操・集団行動復習	行動観察	行動観察	行動観察
5 6	【選択1期】 陸上競技・柔道・剣道・ 器械運動・ダンス 【選択2期】 卓球・バドミントン・ バスケットボール・テ ニス・ソフトボール	・グループ学習 ・基礎技術の習得 ・応用技術の習得 ・ルールの理解 ・試合 ・試合運営	行動観察 スキルテ スト 試合の結 果分析	行動観察 ワークシ ート ノート	行動観察 ワークシ ート ノート
7	体育理論	・「生涯スポーツの見方・考え方」 ・「ライフスタイルとスポーツの楽しみ方」	レポート 課題	行動観察	行動観察

【2学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
8 9	【選択3期】 サッカー・テニス・ ソフトボール・バレーボール	・グループ学習 ・基礎技術の習得 ・応用技術の習得 ・ルールを理解 ・試合 ・試合運営 ※前回選択した種目は選べない	行動観察 スキルテスト 試合の結果分析	行動観察 ワークシート ノート	行動観察 ワークシート ノート
10	体育理論	・「スポーツ推進のための施策と課題」 ・「スポーツで未来を創る」	レポート 課題	行動観察	行動観察
11 12	【選択4期】 サッカー・バドミントン・ハンドボール・バレーボール・バスケットボール	・グループ学習 ・基礎技術の習得 ・応用技術の習得 ・ルールを理解 ・試合 ・試合運営 ※これまでに選択した種目は選べない	行動観察 スキルテスト 試合の結果分析	行動観察 ワークシート ノート	行動観察 ワークシート ノート

【3学期】

1	【選択4期】 サッカー・バドミントン・ハンドボール・バレーボール・バスケットボール	・グループ学習 ・基礎技術の習得 ・応用技術の習得 ・ルールを理解 ・試合 ・試合運営 ※これまでに選択した種目は選べない	行動観察 スキルテスト 試合の結果分析	行動観察 ワークシート ノート	行動観察 ワークシート ノート
---	--	--	---------------------------	-----------------------	-----------------------

担当者からのメッセージ

1・2年時に学んだ知識や技術、練習方法を活用して、自分たちで授業を計画し、展開していこう。また、自ら考え行動し、他者との協力の中でスポーツの楽しさやおもしろさを学んでいこう。さらに、様々なスポーツをより理解し、競技者や支援者等の立場から、試合運営を行い、積極的に活動に参画しよう。

令和7年度シラバス

滋賀県立彦根東高等学校

[GS] 科

科目名	Advanced Research Ⅲ			学年	類型・コース	単位数
				3	GS	1
学習の 目 標	「Advanced Research Ⅱ」にて取り組んだ『Advanced GS 課題研究』を発展・深化させるとともに、成果を論文にまとめ発表することにより、アカデミックライティング力とプレゼンテーション力のさらなる向上を図る。					
使 用 教 材	主たる 教材		教師作成による独自プリント等			
	副教材		なし			
評 価	評価 法	論文作成への取組状況と、論文の内容等にて評価をおこなう。				
	評価 観点 の趣 旨	1	知識・技能	論文作成に関わる必要な知識や技能を学び、身につけている。		
		2	思考・判断・表現	論文作成において考察を科学的に行い、その成果を適切な方法で表現することができる。		
		3	主体的に学習に 取り組む態度	論文作成において意欲的に取り組んでいる。		
	※評価の示し方については、文部科学省推進「WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業」カリキュラム開発拠点校に係る特例に基づく独自の方法を実施する。					

【1学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
4	Advanced GS 課題研究	課題研究	レポート	レポート	レポート
5	Advanced GS 課題研究	課題研究	レポート	レポート	レポート
6	Advanced GS 課題研究	論文作成の基礎知識の習得	レポート	レポート	レポート
7	Advanced GS 課題研究	論文作成の基礎知識の習得	レポート	レポート	レポート

【2学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3

8	Advanced GS 課題研究	論文作成の基礎知識の習得	レポート	レポート	レポート
9	Advanced GS 課題研究	論文作成	論文原案	論文原案	論文原案
10	Advanced GS 課題研究	論文作成	論文原案	論文原案	論文原案
11	Advanced GS 課題研究	論文作成	論文原案	論文原案	論文原案
12	Advanced GS 課題研究	論文作成	論文原案	論文原案	論文原案

【3学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
1	Advanced GS 課題研究	論文作成	論文	論文	論文

担当者からのメッセージ

研究活動において、その成果を論文にまとめ発表することは、最も重要な取組です。この論文作成の基本的なスキルをしっかりと身に付け、これからのさまざまな研究活動に活かしてほしいと考えています。積極的に取り組んでください。

令和7年度シラバス

滋賀県立彦根東高等学校

[GS] 科

科目名		Integrate Ⅲ		学年	類型・コース	単位数	
				3	GS	1	
学習の目標		教科融合授業や現地研修などを実施することを通し、現代社会の課題などを解決するために必要な総合的な学力の育成を図り、文理の枠を越えた多角的な視点と、俯瞰的な物事の捉え方を培う。併せて、課題が解決された理想となる社会をイメージさせる。					
使用教材		教科書	特になし				
		副教材	学校が作成する自主教材				
評価		評価法	課題、レポートの取組状況および提出状況などで評価する。				
		評価観点の趣旨	1	知識・技能	世界的な課題やさまざまな事象について、様々な分野の知識や技能を身に付けている。		
			2	思考・判断・表現	世界的な課題やさまざまな事象を俯瞰的に捉え、多角的に分析し、その結果を論理的にまとめ、表現する力を身に付けている。		
			3	主体的に学習に取り組む態度	世界的な課題の解決に向けて、主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するために行動し、社会に貢献しようとしている。		
		※評価の示し方については、文部科学省推進「WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業」カリキュラム開発拠点校に係る特例に基づく独自の方法を実施する。					

【1学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
4 ～ 8	① Advanced GS 課題研究に関わる研修・指導 ② 外部講師による講演 ③ 教科融合授業の実施 ・事前学習 ・教科融合授業「未定」（予定） ・事後学習		課題 レポート	課題 レポート	課題 レポート

【2学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点1	観点2	観点3
9 ～ 12	① Advanced GS 課題研究に関わる研修・指導 ② 教科融合授業 ・事前学習		課題 レポート	課題 レポート	課題 レポート

	・教科融合授業「未定」(予定) ・事後学習			
--	--	--	--	--

【3 学期】

月	学習項目・単元	学習内容	評価記録		
			観点 1	観点 2	観点 3
1	① 教科融合授業 ・事前学習 ・教科融合授業「未定」(予定) ・事後学習		課題 レポート	課題 レポート	課題 レポート

担当者からのメッセージ

“Integrate” には、「統合する」「まとめる」という意味があります。

SDGs のように世界共通のテーマに対しては、偏った情報やステレオタイプの固定観念にとらわれず、文理の枠を越えて、多角的で俯瞰的に物事を見る力と総合的な探究力が必要です。

「Integrate III」での教科融合授業では、このような力を身につけてほしいと考えています。